

石川病薬ニュース

石川県病院薬剤師会会報

令和4年(2022)/11.30 発行 No. 181

CONTENTS

- ・巻頭言
- ・2022年度日本医療薬学会受賞者・受賞論文紹介
- ・学位取得者紹介
- ・第44回 石川県病院薬剤師会 新任薬剤師研修会
- ・委員会報告
- ・となりの薬薬連携物語
- ・薬局の窓口から
- ・エキスパートに聞く!～輝く石川のキラ星～
- ・他都道府県病薬会誌寄贈一覧
- ・南船北馬
- ・寄稿



〔巻頭言〕

最近の医療状況における業務の一部と地域医療連携の取り組み

加賀市医療センター 西野 正義…… 1

〔2022年度 日本医療薬学会受賞者・受賞論文紹介〕

組織薬物分布に対するMDR1及びBCRP寄与の胎盤・脳関門間比較

金沢大学附属病院 藤田 有美…… 3

〔学位取得者紹介〕

腎機能変化に依存しないバンコマイシン血中濃度上昇予測因子の探索

金沢大学附属病院 磯田 和也…… 5

レジメン最適化による泌尿器腫瘍に対するがん薬物療法の質的向上

金沢大学附属病院 志村 裕介…… 7

切迫早産治療における母体リトドリン塩酸塩投与が出生直後の新生児血糖値に及ぼす影響
とリスク因子の解明

金沢大学附属病院 下川 頌子…… 9

〔令和4年度 石川県病院薬剤師会 新任薬剤師研修会〕

第44回 新任薬剤師研修会開催報告

金沢循環器病院 杉本 智美……11

新任薬剤師研修会－WEB開催－に参加して

金沢大学附属病院 渋谷 成美……13

第44回新任薬剤師研修会WEB開催 アンケート結果 ……………14

新任薬剤師紹介 ……………16

〔委員会報告〕

がん治療委員会

第39回がん薬物療法セミナー開催報告

金沢医科大学病院 高橋 喜統……22

N S T委員会

令和4年度第1回N S T委員会

石川県立中央病院 松田 真歩……23

総務委員会

石川県病院薬剤師会 川柳大会結果発表

ソフィア病院 中山 貴央……25

ホームページ委員会

石川県病院薬剤師会ホームページをリニューアルします！

金沢大学附属病院 嶋田 努……28

〔となりの薬業連携物語〕

金沢大学附属病院 三坂 恒……29

〔薬局の窓口から (85)〕

院外処方箋における事前合意に基づく処方変更に関するプロトコル開始しました

金沢大学附属病院 矢口 邦子……30

〔エキスパートに聞く！ ～輝く石川のキラ星～ (23)〕

日本循環器学会 心不全療養指導士

小松市民病院 川端 歩実……32

〔他都道府県病薬会誌寄贈一覧〕 ……………35

〔南船北馬〕 ……………36

〔寄稿〕

「古寺との結縁-58」善光寺～親子三代で御開帳参り～

院瀬見義弘……37

〔編集後記〕

表紙写真 撮影
：熊走 尚志

冬の金沢

表紙は長町武家屋敷の冬の装い。土壁を雪から守るためこのように薦で覆っている。

この日は早朝から訪れ、金沢の冬を撮ることができた。

裏表紙は金沢城の雪景色。雪を纏った石川門。早朝の誰もいない静けさが寒さをより感じさせる。

巻頭言

最近の医療状況における業務の一部と 地域医療連携の取り組み

加賀市医療センター
医療技術部 薬剤室 薬局長 西 野 正 義

石川県病院薬剤師会会員の皆様におかれましては平素より大変お世話になっております。加賀市医療センターの西野と申します。今回このような光栄な巻頭言に若輩ものの私に御推挙頂き大変感謝し、感銘を受けております。2021年から石川県病院薬剤師会の役員を勤めさせていただいておりますが、まだまだ右も左もわからず、会員の先生方には、ご迷惑をおかけしていると存じます。微力ではありますが、何かお役に立てるようになりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。諸先輩方のような心打たれる文章とは程遠いですが、今回当院での最近の医療状況における業務の一部と地域医療連携の取り組みをお話しさせていただきます。

2020年から新型コロナウイルスによる感染症covid-19は爆発的な勢いで今もお続きしており、いまだ収束の道が見えていない状況です。当院でもファビピラビルの導入から始まり、対応可能な薬剤は当院薬剤室でも安定供給できるように準備し、現在ではニルマトレビル/リトナビル等承認された5剤については処方可能な状態になっています。

現在での当院のcovid-19関連の取り組みを一部紹介させていただきます。

・新型コロナウイルス感染関連での受診について

発熱外来、小児科発熱外来、covid-19外来、濃厚接触者有症状者外来と分けて受け入れる体制を有しています。発熱外来は院内の一部を区画し診療、主に院外処方に対応、小児科発熱外来、covid-19外来は院内敷地にプレハブを設置し診療、投薬時は薬剤師が感染対策をし、服薬指導を行っています。濃厚接触者有症状外来についてはPPE装着した看護師によりドライブスルーにてPCR検査、投薬を行っています。処方方は院内約束処方として鎮咳、発熱、咽頭痛の3種を薬剤室で調整し対応しています。

・新型コロナウイルス感染症治療薬の院外処方へのかかわり

2022年8月18日にモルヌピラビルは薬価収載となり、9月16日から流通が開始となりましたが、それまでは加賀市薬剤師会を通して「対応薬局」と連携し、運用フローチャートを作成、患者宅まで配送できるように体制を構築しておりました。

ニルマトレビル/リトナビルに関しても院外処方は可能となっておりますが、薬物相互作用や腎機能による投与量調整等の観点から当院では院内処方のみとしています。

・加賀市医療センター事業継続計画薬剤室版の作成

院内部署内でのcovid-19関連での欠勤者での影響をフェーズ1～6に分類し、業務縮小にどこまで対応できるか、各部署に院内の統一した事業継続計画書を作成、薬剤室ではフェーズの段階により業務内容

を分け、医薬品供給体制は継続できるようにしております。

薬薬連携に関しては、2016年の加賀市医療センター開院後より前任の久保先生を中心に、退職された先輩薬剤師の先生方の御尽力により、さらなる連携強化を目指し、医療に関する情報を共有・交換すると共に知識・技能の向上を目指し、もって地域住民の健康増進に貢献することを目的とし、加賀市薬剤師会の先生方と推進協議会の立ち上げが行われました。第1回目の推進協議会を2016年5月11日に行い、2020年からはコロナ禍中でありZoomを使用したオンラインでの会議を開催しています。今年の9月14日で第75回を迎え、刻々と変化する医療環境に対応すべく情報を共有し対応しています。

現在での地域医療連携の取り組みの一部を紹介させていただきます。

・加賀薬薬連携にかかわる業務について

当院での薬薬連携に関する保険診療点数として退院時薬剤情報連携加算、がん患者指導管理料ハ、連携充実加算、薬剤総合評価調整加算、薬剤調整加算等があり、医師の指示を受け、副作用の発現状況、治療計画等を薬剤師サマリー等文書で提供し、患者の状態を踏まえて必要な指導を行っています。また、当院ホームページの薬剤室ページには「保険薬局の方へ」の項目を作成し、講演会・研修会の案内や外来がん化学療法を行っている患者さんに対し、調剤後に服薬状況や副作用の有無を確認できるように、主な副作用をCTCAE ver5.0を参考に作成したGrade評価表、特定薬剤管理指導加算2服薬指導提供書を掲示し、活用いただけるようになっています。

・南加賀地区薬薬連携推進チームでの活動

南加賀地区の5つの医療機関において、保険薬局を含めた地域医療連携の活動に参加させていただいています。2021年度には保険薬局の先生もお迎えし、第1回目の研修会を行うことができました。今年度は第2回目として11月に検査値を活用した処方提案への取り組みについて当院医師のメイン講演を中心に各医療機関での症例報告等を行う予定になっております。

・加賀市のスマートシティ構想「医療版情報銀行」について

2022年3月に国家戦略特区の指定を受けた加賀市では、フレイルやロコモティブシンドロームの予防を目指し、市民の病歴、処方内容等、医療健康情報を一元管理するデータベース「医療版情報銀行」を、2023年度から導入していく計画が進められており、2024年に加賀市医療センターから導入され市内の医療機関に順次拡大していく予定があります。

以上が当院薬剤室での取り組みの一部です。これらは歴代の先輩薬剤師の先生方の功績の上に成り立っております。それを継続することはもとより、昨今の刻々と変化する医療環境のニーズに合うように変化させていく必要もあると思っております。「変化」はとても不安で怖いことかもしれませんが、新しいことに「挑戦」していることと思いきれこれからは業務に取り組んでいきたいと思っています。

最後に石川県病院薬剤師会役員の先生方、編集委員の先生方本当にありがとうございました。今回私の稚拙な文章でこの石川県病薬ニュースの巻頭言を飾らせていただき申し訳ありませんでした。まだまだ勉強不足の私ですが、これまでの先輩薬剤師の先生方、薬剤室の素晴らしい仲間のおかげで毎日を過ごしています。そのお力添えに感謝し、風通しがよく、仕事のしやすい薬剤室の職場環境を目指し、薬剤室の一人一人が主役であり、個々のビジョンを集め同じ方向で歩んでいけるように、そして当院を受診される患者さんが不安を解消することができる薬剤管理指導を行えるように、取り組んでいきたいと思っています。最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。